

総合的な時間学習指導略案

授業者：松本 晃

1. 日時・場所：12月22日（月）2校時【9：40～10：25】・5年1組教室
2. 学年・クラス：5年1組 児童数30名
3. 主題：わたしたちの生活と水資源
4. ねらい：日本の水資源は、他の国と比べて多くはないことを理解し、我が国の水資源やこれからの持続可能な社会について、自分なりの考えを持つ。
5. 本時の流れ

学習活動	主な発問（○）と予想される児童の反応（・）	指導上の留意点
1. 日本は世界の国の中で、水が豊かな国なのか、意見を出し合う。	○みなさんは、日本は水が豊かな国だと思いますか。 ・たくさん雨が降って、川もあるから、豊かな国だと思う。 ・人口が多いから、一人当たりで見ると、豊かとはいえないかもしれない。	・主題に興味を持てるように、自由に意見を出し合う。
2. 降水量と使える水の量のグラフを示し、日本の状況を確認する。	○どの数値が、日本でしょうか。 ・降水量は多そう。 ・使える水の量も多いんじゃないかな。	
3. それぞれの平均を出し、日本と数値を比較する。	○データ1とデータ2について、5か国と日本ではどれだけ違いがあるでしょう。平均を出して比べましょう。	・算数科で学習したことを想起できるように、平均のまとめを示す。
4. 改めて、日本が水が豊かな国であるか考える。	○日本は水が豊かな国だと思いますか。 ・使える水の量は少ないから、水が豊かな国とは思わない。 ・降水量は多いけど、水が豊かな国とは言えない。	
5. 雨が多いが、使える水の量が限られている理由を考える。	○なぜ、日本はこのような状況になるのでしょうか。理由を考えて書きましょう。 ・山が急で、雨水がすぐに流れてしまうから。 ・急で短い川が多く、水が海に流れてしまうから。 ・一気に大量の雨が降ることが多く、蓄えることができないから。	・社会科で学習したことを想起できるように、デジタル教科書を示す。
6. 持続可能な社会のために、自分たちにできることについて考える。	○水が豊かであるとは言えない日本で、持続可能な社会を実現していくために、自分たちにはどんなことができるでしょうか。 ・水をむだにしない。できるだけ水を汚さない。 ・歯を磨くときに水を出しっぱなしにしない。 ・家の人と水の使い方を見直す。 ・水が限りあるものだと理解する。 ・水の大切さを他の人にも伝える。	・一人が一日に使う水のグラフを示し、考えを深める。

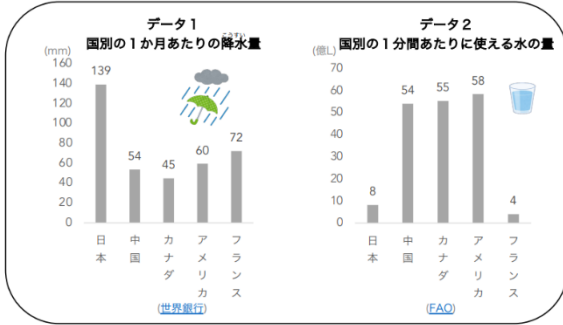
## 6. 板書計画

6 安全な水とトイレを世界中に



日本は、水が豊かな国なのだろうか。

雨がよく降るし、日本は水が豊か  
人口が多いから、一人あたりは少ないかも



日本は、5か国の平均と比べて、  
1ヶ月あたりの降水量は65mm多い。  
1分間に使える水の量は27.8億L少ない。

なんで？

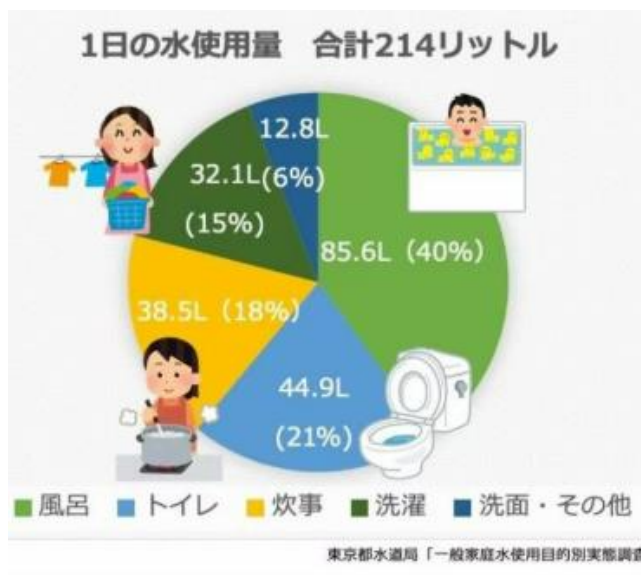
- ・山が急ですぐに雨水が流れる。
- ・川が急ですぐに海に流れる。
- ・まとめて降っても、ためきれない。

今の自分たちにできること

- ・水をむだにしない。
- ・できるだけ水を汚さない。
- ・歯を磨くときに水を出しっぱなしにしない。
- ・家の人と水の使い方を見直す。
- ・水が限りあるものだと理解する。
- ・水の大切さを他の人にも伝える。

### 学習活動6で示す資料

用途	使い方	使用量
歯磨き	30秒間 流しっぱなしの場合	約6L
洗面・手洗い	1分間 流しっぱなしの場合	約12L
シャワー	3分間 流しっぱなしの場合	約36L
食器洗い	5分間 流しっぱなしの場合	約60L
洗車	流しっぱなしの場合	約90L



学習活動 5 で示す資料

